

相馬福島道路(霊山道路)

馬館山トンネル(仮称)の貫通式のお知らせ
～霊山道路7トンネルのうち4番目の貫通～

平成29年度の開通に向けて工事を進めている相馬福島道路(霊山道路)のうち、「馬館山トンネル」(延長367m)の貫通式を下記のとおり6月14日に執り行いますので、お知らせいたします。(5月19日に地元小学生等をお招きして貫通見学会を実施しております。)

なお、本トンネルの貫通は霊山道路に計画しているトンネル7本のうち4番目であり、貫通済みトンネルが半分を超えました。残る3本の未貫通トンネルについても、年度内の貫通を目指して鋭意掘削中です。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト(復興支援道路)として位置づけられています。


また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【相馬福島道路の概要や整備効果は別紙3参照】

記

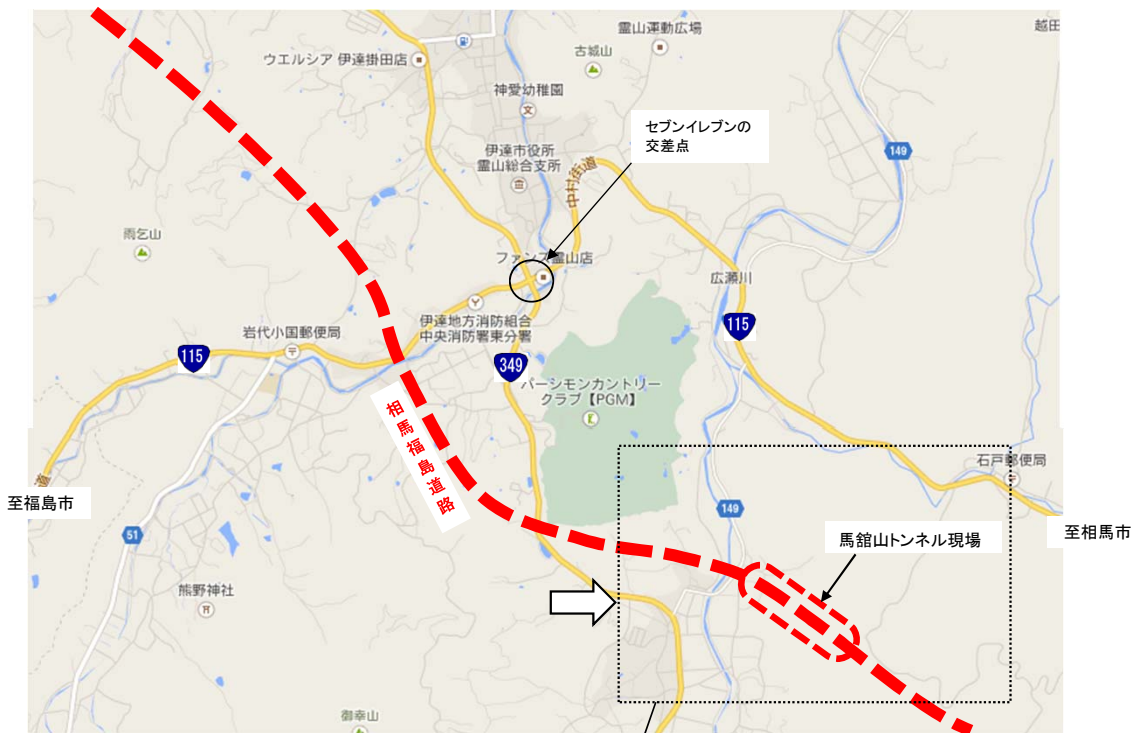
- 日時：平成27年6月14日(日) 10:00～
- 場所：福島県伊達市月舘町御代田地内(馬館山トンネル内)
【集合場所は別紙1参照】
- 主催：株式会社安藤・間
- 式典内容：貫通報告、貫通点清めの儀、通り初めの儀、ほか【別紙2参照】
- 馬館山トンネルの概要
延長：367m
幅員：12.0m(1.75+3.5+1.5+3.5+1.75)
車線数：2車線
工事期間：平成25年10月17日～平成27年10月末(予定)
掘削工法：NATM(発破掘削)工法
施工者：株式会社 安藤・間 東北支店

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、東北専門記者会】

問い合わせ先

問い合わせ先	
 <p>《事業に関すること》 国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代) 副所長 赤坂 浩(内線205) 工務第二課長 小山田 桂夫(内線411)</p>	<p>《式典に関すること》 (株)安藤・間 東北支店 馬館山トンネル作業所 電話 024-597-7575 現場代理人 菅原 一智</p>

現場案内図



西方向(⇨)から見た拡大図



(仮称) 馬館山トンネル貫通式典

日時：平成27年6月14日(日)先勝

10:00～11:00

会場：馬館山トンネル坑内

主催：(株)安藤・間 東北支店

次 第

一、開式（元請業者）

一、貫通報告

- ・安全祈願祭から5.19の貫通見学会までの動画及びスライドを上映。
- ・貫通点に白シートを全面に垂らしてスクリーンとする。
- ・上映終了後、白シートを開けて貫通とする。

一、貫通点清めの儀（協力会社）

一、貫通点通り初めの儀（参加者全員）

- ・トンネル坑内から起点側明り部まで往復（約100m）

一、発注者祝辞（事務所長）

一、来賓祝辞（伊達市長）

一、神酒御饗（協力会社）

一、鏡開きの儀

中央の樽　：　市長、事務所長、県北建設事務所長（3人）

左の樽　　：　議長、労基署長、警察署長、消防長（4人）

右の樽　　：　地権者会会長、元請、協力会社（3人）

一、乾杯（市議会議長）

一、施工者謝辞（安藤・間東北支店長）

一、万歳三唱（地権者会会長）

一、閉式（元請業者）

【復興支援道路】一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙3

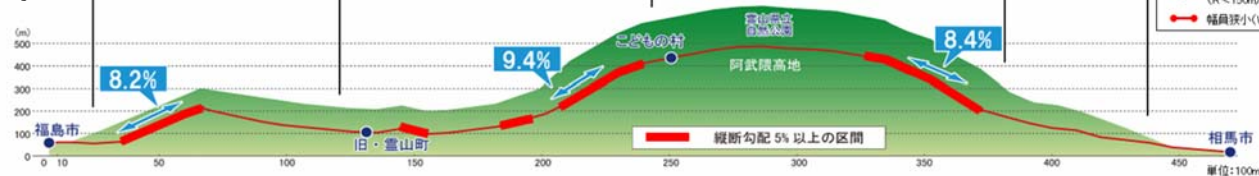
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



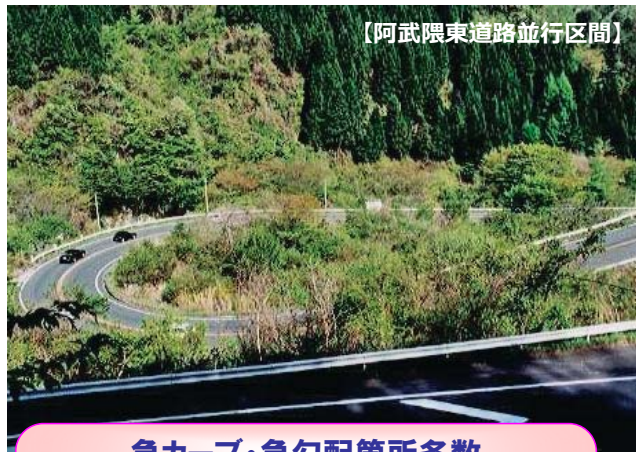
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

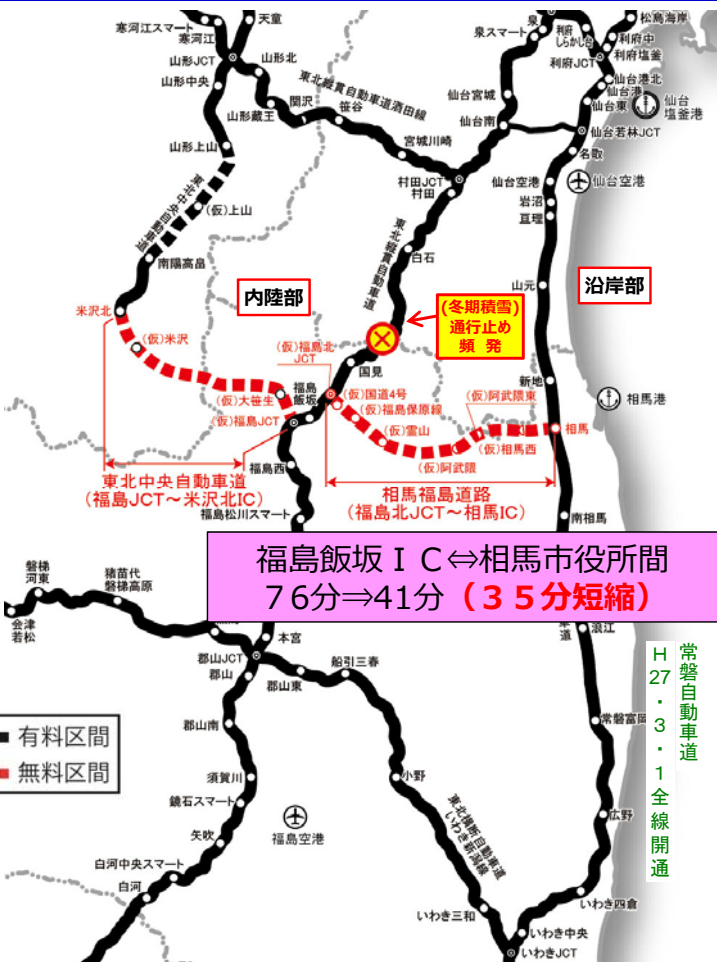


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

冬期迂回ルート
迂回率 1.74
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止14回/15年)

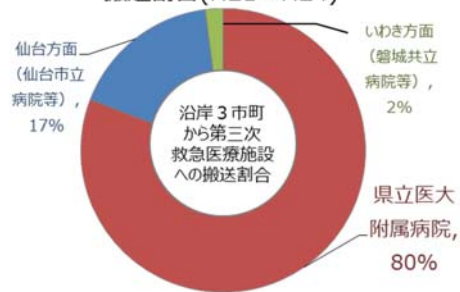
※H11～H25

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



▼沿岸3市町から第三次救急医療施設への搬送割合(H21～H24)



▼沿岸3市町から第三次救急医療施設への搬送件数（H21～H24）

全搬送件数：421/4年
うち、福島方面 335件
うち、仙台方面 73件
うち、いわき方面 10件

資料：相馬地方広域消防本部

線形不良箇所（R<150m）
N=103箇所

メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

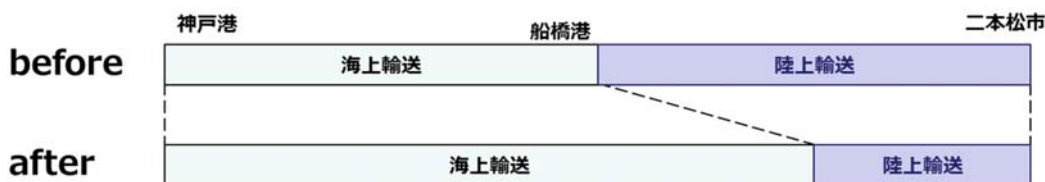
《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港